

「令和3年度広島市安全なまちづくり功労賞」受賞

令和3年度 広島市より上記功労賞(個人の部)を早稲田二丁目上町内会の3名が受賞いたしました。



この受賞を機に
「多くの早稲田学区の方々と共に活動していきたいな」
「輪が広がったら良いな」
「より多くの安全・安心を呼び込みたいな」と願っております。どうぞお声をかけて下さい。この度はありがとうございました。



“いつも笑顔で”
早稲田学区防犯組合連合会 会長 吉岡 宏明

藤原宏二さん (中央)
前早稲田学区社協また前早稲田二丁目上町内会長等を務めて頂いた方です。91歳の現在もお元気で早朝の旗振り、交通安全と子どもの登下校の声かけなど20年以上に亘って地域を見守ってこられています。見守りの場所は、早稲田二丁目上の「神社通り」で通称「観音さんの下」辺りで、道幅が急に狭くなりS字カーブとなっており見通しが悪い所です。山から下る道で通勤・通学の自転車はついスピードが出て、下から来る車等との接触事故等が多発する場所です。

吉岡宏明さん (左)
現在早稲田学区防犯組合連合会会長を務めておられ、藤原・竹村両先輩の背中を見、早朝の旗振りや子どもの見守り、また青パト(青色回転灯装備車)による毎夜の夜間のパトロールを続けて頂いています。

竹村賢二さん (右)
家はS字カーブのすぐそばにあり、登校日の朝の旗振りの前に、山から降る落ち葉が溜まり自転車や車がスリップするため、早朝は当然、1日に3回以上落ち葉の掃除をして頂いております。

社会福祉功労賞受賞

早稲田社協副会長で、早稲田二丁目上町内会長の山崎正光さんが広島市社会福祉協議会から表彰されました。



わせたのニューフェイス

防災士



この度、防災士の資格を取得させて頂きました東4丁目の松本です。防災士の資格を取得した事で、土砂災害危険地域が多くある早稲田学区の防災活動に微力ながら務めてまいりたいと思います。防災活動に関しては現在活動をされています防災士の諸先輩方と意見を交わしながら、どのようにすれば地域の皆様が防災に関心を持って頂き、身近な問題としてとらえて頂けるようになるかをポイントに活動して行ければと思います。 牛田東4丁目 松本 晃徳



はじめまして 早稲田4丁目の金谷です。早稲田学区は山に囲まれており、また高い石積みや擁壁があるなど豪雨や地震時には脆弱な箇所が見受けられます。最近では自分の身は自分で守ることが重要とされており、そのためには、地域に住む人々の連携や活躍が重要であるとされています。この度、防災士となり微力ながら早稲田学区の防災活動に貢献したいと思っておりますのでよろしくお願い致します。 早稲田4丁目 金谷 寛之



近年、集中豪雨・台風による土砂災害や地震災害が多く発生しています。早稲田学区も急傾斜地が多くいつ災害が起きるか予断を許さない状況です。今回習得した防災に関する知識を生かすと共に先輩の防災士の方々に教えていただきながら地域の防災力向上の為に役に立ちたいと思います。どうぞ宜しくお願いします。 早稲田2丁目 中村 博年



早稲田三丁目は、新しいコミュニティ形成の真最中で、災害時の地域対応を再確認する必要があります。防災士養成講座で、『自分たちの地域は自分たちで守る』、『地域住民の底力の結集』の必要性を学びました。日頃からどの様に備え、災害時にどの様に行動すべきか、地域の皆さまと一緒に考えていきたいと思っております。災害に強く、安心して暮らせる街づくりのお役に立てればと思っておりますので、どうぞ宜しくお願いします。 早稲田3丁目 高野 恭子

～元気じゃ健診の「受診券」使い忘れていませんか?～

みなさん、ご自身の健康チェックはどのようにされていますか? 40歳になったら年に一回は健診を受けましょう。広島市では、広島市国民健康保険または後期高齢者医療保険に加入されている40歳以上の方に、令和3年4月に元気じゃ健診の受診券を送付しています。なんと約9,500円相当の健診が全員無料で受診できます。検査内容は、血圧測定、血液検査、尿検査、身体測定等で、20以上の病気の兆候が発見できます。早稲田学区では、令和4年3月14日(月)に早稲田公民館で集団検診が実施されます。(予約不要、受付時間9:30~11:30)

受診券をなくされた方は再発行できますので、お問い合わせください。元気じゃ健診は十分な感染症予防策を講じて実施しています。3月14日は、元気じゃ健診の「受診券」と健康保険証を持って早稲田公民館に行きましょう!

【問い合わせ先】
広島市東保健センター
(東区地域支えあい課)
TEL 082-568-7729
早稲田学区担当保健師
西小森 七美



「電気火災の対策」出来てますか?

電気火災とは、コンセントや電気配線から出火するもので、近年増加している出火原因となっています。主な対策は、次の2つのチェックでできます。ぜひ実施してみてください。

- ①プラグのほこり掃除(トラッキング現象の防止)
コンセントに差し込んだプラグのすき間に付いたほこりなどに湿気が加わり、スパークを繰り返していきうちに火を出すことを「トラッキング現象」といいます。電気製品を使用していなくても起こります。
《対策》
・定期的にプラグを確認し、ほこりなどが付いていれば掃除する。
・プラグをコンセントに差しっ放しにしない。



- ②たこ足配線の解消(過電流の防止)
電気配線のたこ足配線により、1つの配線に流れる電気の量を超えてしまうことを「過電流」といいます。ドライヤーと電気ストーブを同時に使用したりするなど、大量の電気の使用が出火の原因になります。



- 《対策》
・たこ足配線をやめる。
・もしくは、できるだけつなげる配線数を減らす。
・延長コードなどが古い物は新しい物に交換する。

電気火災については、広島市消防局のホームページでも詳しく説明しています。詳細はこちらのQRコードから確認できます→

